

令和2年9月3日
東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題 令和2年度多伎いちじくが初出荷されました！ ～紹介式開催～

(ダイジェスト)

8月25日、多伎農産物集荷所において令和2年度の多伎いちじく出荷紹介式が開催されました。例年は、出発式としてテープカットや陣太鼓などのイベントを行っていますが、コロナ禍の中、今年は報道機関のみを集めての「紹介式」としました。今年度の多伎いちじく生産部会は、販売高8,000万円（前年比97%）、出荷量20万パック（同100%）を目指し、10月下旬頃まで収穫を行います。

紹介式には報道機関4社が集まりました。部会長のあいさつのあと、JA担当者から今年度の多伎いちじくの作柄や部会目標などの説明があり、最後に試食会を行いました。

試食に供されたいちじくは糖度が17～18度と高く、記者らからは「おいしい」との声が聞かれました。

今年の露地いちじくは、昨年より3日遅い8月16日から収穫が始まりました。紹介式に先行して出荷されたいちじくは、高温のためやや小玉で口の開きが小さいものの、糖度は例年に比べ高く、市場評価もまずまずです。

多伎いちじく部会では毎年、部会員からの公募により出荷スローガンを決め、集荷所の入口に垂れ幕を掲げています。今年のスローガンは「まごころ込めて育てた”いちじく”をより多くのお客様へ」に決まりました。これから約2か月にわたって、まごころを込めた多伎いちじくが県内外市場に出荷されます。

今年2月には、いちじくりース団地53aが完成し、2名の新規就農者が新しく部会に加わり、良好な生育となっています。3年後には、この団地からも出荷が加わることで、今後のいちじく生産振興につながることを期待されています。



(部会長挨拶：隣はマスコットキャラのホライちゃん)



(見本のいちじく)